

**1404.90 1. 雁皮（第 1404.90 号－1）の適用範囲等について**

## 1. 関税率表第 1404.90 号－1 の雁皮の適用範囲

ジンチョウゲ科(Thymelaeaceae)のガンピ属(Diplomorpha)及びアオガンピ属(Wikstroemin)のいずれかに該当するものをいう。

## 2. 雁皮とミツマタ属との鑑別

ジンチョウゲ科に属するミツマタ属は、関税率表第 1404.90 号－4 に分類されるが、上記 1 の雁皮との相違点は次のとおりである。

- (1) 表皮の外観において、ミツマタ属は軸方向に縦ジワを生ずるが、ガンピ 2 属は平滑であり、しばしば乾燥工程中に横ジワを生ずることがある。
- (2) 真皮の組織において、ミツマタ属は全米糖状の結晶を生ずるが、ガンピ 2 属にはこれが認められない。
- (3) ミツマタ属は全て葉が互生であるが、アジア産のアオガンピ属は対生である。

## 3. サラゴの取扱い

- (1) サラゴには、アオガンピ属とファレリア属の 2 属がある。このうち、アオガンピ属は上記 1 により雁皮に分類される。

ファレリア属は、上記 1 の 2 属とは属が異なるが、組織等の特性がガンピ 2 属と類似しており、実務上その識別が困難であることから雁皮として取扱うこととする。

- (2) なお、ミツマタ属は、フィリピン及び台湾には分布していないので、両国原産のサラゴは、原則として関税率表第 1404.90 号－1 の雁皮として取扱って差し支えない。

両国以外、特にインドシナにはサラゴとミツマタ属が共に分布しているので、インドシナ原産のものについては、それ故ミツマタ属との鑑別が必要となる。したがって、上記 2 の相違点の比較及び必要に応じその他の分析を行ってその分類を決定する。

(参考)

ジンチョウゲ科植物の分布表

属名	(和名)	日本在来のもの	フィリピン及び 台湾在来のもの	和紙原料となる もの
Daphne	(ジンチョウゲ属)	○	○	
Edgeworthia	(ミツマタ属)	○		○
Diplomorpha	(ガンピ属)	○	○ (台湾のみ)	○
Wikstroemia	(アオガンピ属)	○	○	○
Aquilaria			○	○
Phaleria	(ファレリア属)		○	○
Gyrinopsis			○	
Macyregorianthus			○	
Pimelea			○	

- (注) 1. Diplomorpha (ガンピ属) と Wikstroemia (アオガンピ属) を類別せずに、Wikstroemia (ガンピ属) とする説もある。
2. Diplomorpha は、日本に9種、中国に数種、他は台湾に1種をみるのみで、それ以南の熱帯アジアにはない。
3. Wikstroemia は、日本には2種あるのみで、台湾からフィリピン以南のオセアニアに至る熱帯地方に広く分布する。
4. Edgeworthia は、日本、中国に共通の1種、ヒマラヤに1種、インドシナに2種があり、フィリピン及び台湾にはない。